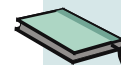


この本と私



「成り上がり」

How to be BIG

矢沢永吉 著



角川文庫

本書の中には、矢沢少年が、E. YAZAWAになっていった、その過程が書かれていました。矢沢永吉が、才能や勢いだけでロックスターになっていったのではなく、スターになるための戦略を立て、行動し、スターになっていったという事を知り、とても驚きました。その行動はとても力強く、その勢いに引き寄せられて多くの人が彼の元に集まってくる。同時に、その勢いは集まってきた人達との間に溝を作る。その溝を受け入れ、明らかにする事で、夢を夢のまままで終わらせず、現実のものにして行きます。人との関わりの中にある小さな、畏、に対して敏感になれるかどうか。そういった小さな差が数十年後の大きな現実の差になる。そんな事実が具体例とともに書かれていました。発した言葉をそのまま活字にしたような文章の行間には「このとき、ヤザワはこうした。お前はどうか？」という問いがあり、読み進めていく中で、矢沢永吉本人の姿と同時に、自分自身の今の姿が明らかにになっていきました。自分で考えて行動したのか？人のせいにしたのではないか？行動する前にあきらめたんじゃないか？自分に正直だったか？そんなE. YAZAWAが放つ強烈な光にさらされたような読書体験でした。

宇響